

課題になっている行動 (気になる行動)

教室に掲示されている
掲示物が気になって
授業に集中できない

け

縦横合わせて
貼ってほしい

掲示されている
皆の習字が気になって
授業に集中できない



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<input type="checkbox"/> 様々な状況の変化 ■ 影響を与える刺激や情報 見える部分に掲示物がある 掲示物がきれいに並んでいない ■ 必要な支援がない 無視するための刺激の統制がさ れていない <input type="checkbox"/> その他	■ 全体よりも細部に注目す る特性：刺激・情報が無視 できない (■ 時間の整理統合の困難さ) (■ 空間の整理統合の困難さ) ■ 変化の対応の特性：整然 としたものを保持しようと する ■ 感覚の特異性：視覚刺激の影 響	■ 習慣になっているものがある 物の位置などを整然と保持する ■ 自分流の気づき・考え方もつ 見えているものを優先してしま う <input type="checkbox"/> 過去に経験したこと学んだこと <input type="checkbox"/> 過去に経験したことにより恐怖や嫌 悪感をもっていること
■ 行動前の状況※ 掲示物がきれいと並んでいない状況		■ 行動後の状況・結果※ 授業についいけない 注意をうける

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
	刺激が統制された環境であれば、活動の見通しは持てる、授業の内容は理解できる	

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
環境を変える部分は？	本人の特性にあわせた支援は？	本人に伝える・教える部分は？
・教室の前の方には、掲示物を 掲示しない。または、最小限に する。 ・その他教室の掲示物は、整然 とそろえて掲示する。大きさの ことなるものは、上だけを合わ せる。	・教室全般の刺激の統制の工夫 を行う。	・気になった部分に関しては、 いつ改善するかを伝えて、授業 の内容に促す。

解説と支援の方向性について

様々な刺激を無視することが得意ではありません。また、一貫した秩序、矛盾がない状況を好む方、保持しようとする人もいます。教室の中には、掲示物がそろってなかったり、本が波打っていたり、様々な無秩序(?)、矛盾(?)があり、学習などの時にそれが無視できないのです。無視できるように、例えば学習の時に見える範囲には掲示物をはらないとか、掲示物はそろえて貼るなどの工夫が必要です。